

報道関係者各位

2017年8月9日

森ビル株式会社

次世代のビジネスモデル創造・事業化の支援施設 「Ignition Lab MIRAI (イグニッション ラボ ミライ)」オープン 虎ノ門ヒルズエリアのイノベーションセンターに向けた実験場に

森ビル株式会社(東京都港区、代表取締役社長:辻慎吾)は、8月21日、次世代のビジネスモデル創造・事業化支援を目的として「Ignition Lab MIRAI (イグニッション ラボ ミライ)」をオープンします。当施設は、「(仮称)虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」におけるイノベーションセンターに向けたプレ施設として開設するものです。なお、共同運営者として、米国シリコンバレーを本拠地としてベンチャー投資・育成事業のほか、大企業の事業創出支援等を手掛ける WiL(共同創業者 CEO:伊佐山元)が参画いたします。

イノベーション創出に向けた仕組みづくり

当社は、虎ノ門ヒルズエリアにおいて、新たに3つの大規模プロジェクトを推進し、日比谷線虎ノ門新駅(仮称)を含む一体的な都市づくりによって「国際新都心・グローバルビジネスセンター」の形成を目指しています。2019年12月竣工予定の「(仮称)虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」4階には、約3000㎡の大規模なイノベーションセンターを開設し、大企業からベンチャーまで様々な分野のイノベーターが集う交流拠点を整備する予定です。

そのプレ施設として愛宕グリーンヒルズ MORI タワー40階にオープンする「Ignition Lab MIRAI」は、約700㎡の空間に、スモールオフィスや少人数・短期間で借用可能な家具付小割オフィス(プロジェクトルーム)を設けるほか、コワーキングスペースとミーティングルームを併設し、定期的にイベントも開催。当施設の運営を通じて、イノベーションを生み出す最適なファシリティやコミュニティ運営のあり方等を検証してまいります。



コワーキングスペース



プロジェクトルーム(家具付小割オフィス)

当社は、特定の産業分野に特化することなく、多様なプレーヤーが集い、対話し、共創する場や仕組みづくりを進め、虎ノ門ヒルズエリアから新たなビジネスやイノベーションを発信するための拠点づくりを推進するとともに、国際都市・東京の磁力向上に貢献してまいります。

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 深野

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

「Ignition Lab MIRAI (イグニッション ラボ ミライ)」概要

開設日:2017年8月21日

所在地:東京都港区愛宕2丁目5番1号

愛宕グリーンヒルズ MORI タワー40階

面積:約700㎡(約210坪)



①コワーキングスペース



ワークスタイルに合わせて、大小様々なデスクやイスを選べる(42席)。



セミナーや勉強会等のイベントも開催可能。

②パントリー



リフレッシュ&コミュニケーションエリア。コワーキングスペースに併設されるパントリー。

③ミーティングルーム



全室モニターとホワイトボードを完備したミーティングルーム(6室、4~8名想定)。

④プロジェクトルーム(家具付小割オフィス)



プロジェクト創成期のチームが入居する少人数・短期間で借用可能なオフィス(6室、4~10名想定)。

⑤スモールオフィス



大企業をカーブアウトした新設会社が入居するスモールオフィス。

※パースはイメージであり、変更となる可能性があります。

■共同運営者

Wil

代表者:伊佐山 元

本社所在地(米国オフィス): 102 University Ave, Ste 1A, Palo Alto, CA 94301, USA

日本オフィス: 東京都港区愛宕2丁目5番1号 愛宕グリーンヒルズ MORI タワー40階

設立:2013年8月

事業概要:

- ・ベンチャー投資、及びオープンイノベーション推進を担うインベストメント事業
- ・大企業との新規ビジネスを構築するビジネスクリエーション事業
- ・イントレプレナー、大企業への研修などを担うエンパワーメント事業

LP(リミテッドパートナー)企業:産業革新機構、ANA等 計17社

伊佐山 元氏(WiL 共同創業者 CEO)

今世界的に成長のドライバーとしてイノベーションの促進が課題になっています。日本政府もIoT、ビッグデータ、ロボット、AI等の領域を第4次産業革命と称して、リスクテイクによる新産業の育成を待望しています。

このイノベーション振興に、リスクの取りやすい環境、異業種の間人が自然と集える空間、そしてベンチャーの創造と育成を支援するインフラは不可欠です。今般 WiL と森ビルのコラボレーションにより、この全ての要素を

実現する、日本最高のイノベーションセンターを構築することで、誰もがイノベーターになり、日本だけでなく世界を変えるような事業を実践できる仕組みを実現したいと考えています。この場から数多くの Doer(行動する人)が生まれることを夢見て。



■入居予定企業一覧 (2017年8月時点)

株式会社 Blue Lab

代表者:山田 大介

設立:2017年6月

株主:WiL、株式会社みずほ銀行、伊藤忠商事株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、第一生命保険株式会社、農林中央金庫、丸紅株式会社、三井住友信託銀行株式会社

事業概要:

- ・コンサルティング事業
- ・金融・経済の調査・研究
- ・データ処理、ソフトウェア開発・販売

株式会社 Wilx

代表者:松本 真尚

設立:2015年3月

事業概要:

- ・コンサルティング事業
- ・教育委事業及び研修事業、並びにこれらの支援事業
- ・製品の企画、調査、設計、開発、制作及び販売



ambie 株式会社

代表者:松本 真尚

設立:2017年1月

株主:WiL Fund I, L.P.

ソニービデオ&サウンドプロダクツ株式会社

事業概要:

- ・オーディオ製品並びに、デジタルコンテンツの企画、開発、製造、販売



株式会社 LiveArts

代表者:難波 俊充

設立:2017年7月

株主:WiL Fund I, L.P.

事業概要:

- ・大企業と協業し、新規事業を開発中



【参考】

「国際新都心・グローバルビジネスセンター」形成に向けて、進化・拡大する虎ノ門ヒルズ

森ビルは、グローバルプレイヤーが住み、働き、集う「国際新都心・グローバルビジネスセンター」を目指して、「虎ノ門ヒルズ森タワー」の両側にオフィスを中心とした「(仮称)虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」(2019年12月竣工予定)と、住宅を中心とした「(仮称)虎ノ門ヒルズ レジデンシャルタワー」(2020年4月竣工予定)の2つのプロジェクトを進めています。さらに、桜田通りを挟んだ西側には、東京メトロ日比谷線虎ノ門新駅(仮称/2020年度供用開始)と一体開発する「(仮称)虎ノ門ヒルズ ステーションタワー」(2022年度竣工目標)を計画しています。

新たな3棟の超高層タワーが加わることで、「虎ノ門ヒルズ」は区域面積7.5ha、延床面積80万㎡に拡大。約30万㎡のオフィス、約720戸のレジデンス、約26,000㎡の商業店舗、約15,000㎡の緑地空間を備え、道路や鉄道などの交通インフラとも一体化した複合都市となり、六本木ヒルズに匹敵するインパクトを与える真の国際新都心へと進化します。



新たなビジネスやイノベーションの発信拠点へ

虎ノ門ヒルズ森タワーの北側で建設が進む地上36階建ての「(仮称)虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」(2019年12月竣工予定)の4階には、約3000㎡のイノベーションセンターを開設し、起業家や大企業のエグゼクティブが集うサロンやイノベーターを育成するイベントスペース等を設け、新たなビジネスの創出を支援します。また、東京メトロ日比谷線虎ノ門新駅(仮称/2020年度供用開始)と一体開発する「ステーションタワー」(2022年度竣工目標)では、最上部に、大企業やベンチャー企業、起業家から広く一般の方にも開かれた交流施設を設置し、新たなビジネスやイノベーションの発信拠点を目指します。



「(仮称)虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー」の4階に設けるイノベーションセンター